

夷隅川総合開発事業(大多喜ダム)の効果について



事業概要

大多喜ダムは、夷隅川水系沢山川の千葉県夷隅郡大多喜町西部田地先に多目的ダムとして建設するもので、夷隅川総合開発の一環をなすものである。
ダムは、ゾーン型フィルダムとして高さ36.5m、総貯水容量2,100,000m³、有効長水容量1,950,000m³で洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の補給を目的とするものである。

事業の必要性

ダムによる治水効果

平成8年9月21～22日の台風17号により発生した洪水においても、大多喜ダムがあれば洪水被害を防御できた。



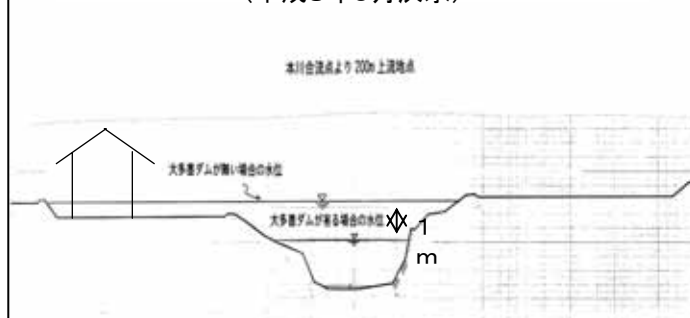
新規利水の必要性

南房総広域水道の日最大給水量は増加傾向にある。また、月別給水量をみると夏場の給水量が特になくなっている。今後も需要の増加が予想されることから、早急な水源手当てが必要である。



大多喜ダムの建設により洪水被害の防御、安定した水供給が可能となる

大多喜ダムによる洪水調節効果イメージ図
(平成8年9月洪水)



水道用水取水パターン図

